令和８年 11 月１日発行

かわごえ 議会だより





川越市マスコットキャラクター ときも



ヤオコーみんなの広場の遊具で遊ぶこどもたち

令和８年 第４回定例会

令和７年度一般会計歳入歳出決算を認定

ヤオコーみんなの広場（新宿町一丁目広場）オープン

定例会の経過

<8月>

31日　議案28件上程　報告５件
　　議員提出議案１件
　　上程・採決

<9月>

3日　議案質疑
4日　議案質疑
8日　議会運営委員会
9日　一般質問
10日　一般質問
11日　一般質問
14日　一般質問　議案１件上程
16日　２常任委員会
　　（総務財政・文化教育）
17日　２常任委員会
　　（保健福祉・産業建設）
18日　２常任委員会
　　（保健福祉・産業建設）
29日　議案29件採決　人事案件７件
　　決議１件　上程・採決

目　次

市長提出議案 …… (2)～(3)
議案議決結果一覧表 …… (4)
議案質疑 …… (5)～(8)
討　論 …… (8)
一般質問 …… (9)～(13)
常任委員会 …… (14)～(15)
議会情報 …… (16)

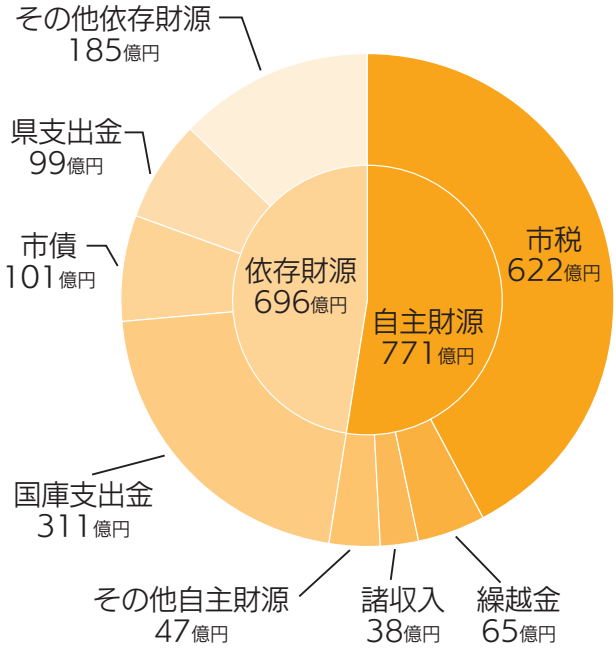
市長提出議案

36件の市長提出議案を審議しました。
採決の結果は4ページの議決結果一覧表を、各議案への質疑は

令和７年度一般会計歳入歳出決算認定　議案第61号

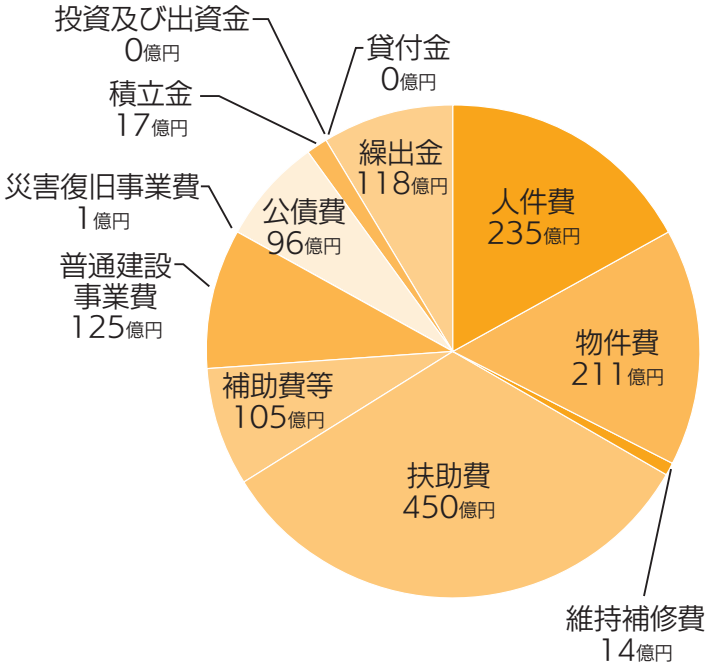
歳 入

1467億4988万4千円
（前年度比98億499万1千円増）



歳 出（性質別）

1371億4133万9千円
（前年度比66億7198万9千円増）



※計数は、それぞれ四捨五入しているため計が一致しない場合がある他、５千万円未満の場合は、０億円と表しています。

主な事業の成果

■ **物価高対応子育て応援手当支給事業**
長期化する物価高の影響を強く受ける子育て世帯に対して、子育て応援手当の支給を行った。

■ **福祉施設等への運営継続支援事業**
エネルギー価格等の高騰により影響を受けている高齢者施設、障害者施設、児童福祉施設等に対して、運営継続を支援するため、光熱費等の負担軽減を図った。

■ **帯状疱疹ワクチン接種**
帯状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、65歳以上の５歳年齢ごとの対象者の人や60歳から64歳までの重症化リスクの高い人に対してワクチン接種に係る費用の一部を助成した。

■ **学校給食費の保護者負担軽減**
食材費の高騰による影響が続く給食について、これまで通りの質や量を保った給食の提供ができるよう、賄材料費を増額した。また、保護者の負担を軽減するため、令和７年９月分から令和８年３月分までの学校給食費を２分の１に減額した。

■ **新宿町一丁目広場防災施設等整備**
川越駅西口の川越地方庁舎跡地について、防災機能を有する広場として活用を図るため、整備工事を行った。

■ **キャンプスペースの整備工事**
施設の魅力向上、観光の広域化および滞在時間の延長を図るため、グリーンツーリズム拠点施設にせせらぎ水路、ファイヤーサークル、電源設備等を備えたキャンプスペースを整備した。


ヤオコーみんなの広場
（新宿町一丁目広場）


キャンプスペース

5～8ページをそれぞれご覧ください。

法定外税導入検討委員会条例
議案第72号

制定の趣旨

本市における法定外税の導入に関する事項について検討する附属機関を設置するため、川越市法定外税導入検討委員会条例を制定しようとするもの。

行政財産の使用料に関する条例の一部改正 | 議案第76号

改正の趣旨

川越市役所南側来庁者用駐車場および川越市役所北側来庁者用駐車場の休日等の昼間における使用料の額を見直すため、川越市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正しようとするもの。

都市公園条例の一部改正
議案第78号

改正の趣旨

なぐわし公園の指定管理者による管理および有料の公園施設の使用料の額を見直すため、川越市都市公園条例の一部を改正しようとするもの。

学童保育室条例の一部改正
議案第79号

改正の趣旨

開室時間の延長および保育料の額の改定をするため、川越市学童保育室条例の一部を改正しようとするもの。

令和８年度一般会計補正予算（第２号） | 議案第84号

補正予算額　10億8289万3千円増
（補正後予算額　1450億3814万5千円）



主な内容

■ **物価高騰対策**

物価高騰の影響を受ける事業者等に対する支援を行う。

①地域防犯カメラ設置費補助金の増額
②福祉施設等に対するＬＰガス高騰対策支援
③医療機関等運営継続支援
④農業機械修繕支援事業補助金の増額
⑤運送事業者事業継続支援
⑥学校給食における給食食材費高騰対策

■ **市内施設における樹木の適切な維持管理**

市が管理する施設（公園、児童遊園、市立小中学校）の樹木について、伐採や剪定（せんてい）による適切な維持管理を行う。


市内施設での樹木の様子

■ **部活動地域展開**

文化芸術振興費補助金や、地方スポーツ振興費補助金を活用し、文化系・運動系部活動の地域展開を推進する。

■ **法定外税の導入検討**

将来にわたって安定した行政サービスを継続していくための自主財源の確保と、オーバーツーリズムなどの観光分野における行政需要に対する受益者負担の観点から、法定外税の導入を検討する。

■ **新河岸川における係留施設設置工事**

一番街周辺に集中する観光客の分散化やさらなる観光振興のため、新河岸川で実施している舟運の際に、舟を係留させることができる施設を設置し、事業の拡張を図る。


設置工事を予定している新河岸川

議案議決結果一覧表

今定例会で審議した議案の議決結果は以下のとおりです。

■ 全員一致で可決した議案

議案番号	議　案　名	議案番号	議　案　名
議員提出議案1	川越市議会会議規則の一部を改正する規則	議案 78	川越市都市公園条例の一部を改正する条例
議案 59	令和７年度川越市水道事業の利益の処分	議案 79	川越市学童保育室条例の一部を改正する条例
議案 60	令和７年度川越市公共下水道事業の利益の処分	議案 80	川越市公民館設置条例及び川越市公民館使用条例の一部を改正する条例
議案 64	令和７年度川越市歯科診療事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 81	川越市みよしの支援センター改築等工事請負契約
議案 66	令和７年度川越市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 82	ディーゼルエンジン塵芥車の取得
議案 67	令和７年度川越市川越駅東口公共地下駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	議案 83	川越市道路線の認定（開発行為）
議案 68	令和７年度川越市水道事業会計決算認定	議案 84	令和８年度川越市一般会計補正予算（第２号）
議案 69	令和７年度川越市公共下水道事業会計決算認定	議案 86	令和８年度川越市公共下水道事業会計補正予算（第１号）
議案 70	令和７年度川越市農業集落排水事業会計決算認定	議案 87	裁判上の和解
議案 71	川越市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	同意 4	公平委員会委員の選任につき同意を求めること〈本山賢太郎 氏〉
議案 72	川越市法定外税導入検討委員会条例	同意 5	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること〈中山達人 氏〉
議案 73	川越市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	意見 1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること〈長澤和明 氏〉
議案 74	川越市市民センター条例の一部を改正する条例	意見 2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること〈大泉一夫 氏〉
議案 75	川越市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	意見 3	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること〈齋藤喜美 氏〉
議案 76	川越市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例	意見 4	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること〈髙柳亮伯 氏〉
議案 77	川越市都市景観条例の一部を改正する条例	意見 5	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること〈神山裕一 氏〉

＊議長は採決に加わっていません

■ 賛否が分かれるなどした議案

○……賛成　×……反対　△……退席

議案番号	議　案　名	議決結果	会派等の賛否									
			初雁自由政令会 8人	公明党議員団 7人	川越志政会 6人	日本共産党議員団 4人	川越政策フォーラム 3人	川越市民の会 3人	川越未来の会 2人	無会派 無所属A 1人	無会派 無所属B 1人	無会派 無所属C 1人
議案 61	令和７年度川越市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 62	令和７年度川越市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 63	令和７年度川越市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 65	令和７年度川越市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 85	令和８年度川越市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
決議 3	小林透議員の説明を求める決議	原案可決	△	○	○	○	○	※1	○	△	△	△

＊議長は採決に加わっていません　※１…議案に関係する議員１人は採決に加わっていません。賛成２人

会派別所属議員　◎：議長　○：副議長

初雁自由政令会	江田崇　小島洋一　小林範子　牛窪喜史　海沼秀幸　小高浩行　吉野郁恵　中原秀文
公明党議員団	須藤直樹　鈴木謙一郎　嶋田弘二　田畑たき子　中村文明　桐野忠　小ノ澤哲也
川越志政会	松本きみ　倉嶋真史　粂真美子　中野敏浩　栗原瑞治　○吉敷賢一郎
日本共産党議員団	池浜あけみ　今野英子　柿田有一　川口知子
川越政策フォーラム	髙橋剛　山木綾子　◎片野広隆
川越市民の会	柳沢貴雄　小林透　小林薫
川越未来の会	加藤みなこ　神田賢志
無会派	伊藤正子（無所属A）　村山博紀（無所属B）　川口啓介（無所属C）

本会議における 議案質疑

今定例会では延べ24名の議員が質疑を行いました。
採決の際、討論を行った議案には**討論あり**と表示し、
その内容は8ページに掲載しました。

議案第61号　**討論あり**

令和７年度一般会計歳入歳出決算認定

初雁自由政令会｜無会派｜川越志政会｜無会派
日本共産党

問クラウドファンディング型ふるさと納税で、仮称宮元町多目的グラウンド整備が約1400万円、新宿町一丁目広場整備が約3900万円と、目標額を大きく上回った要因は。

答関係者や地域住民と協力しながら、ＳＮＳ等を活用した情報発信や地域の魅力を生かした返礼品の設定など、幅広い人々からの支援につながる環境を整えたことが目標達成につながった。


宮元町健康ふれあい広場

問歳入増の要因である個人市民税が増えた理由は。

答定額減税による減収額が縮小したことや、納税義務者数および総所得金額の増加などにより増収となった。

問令和７年度の市民の暮らしぶりをどう捉えているのか。

答名目賃金は上昇しているが、生活が豊かになったと実感できている人は限定的ではないかと考えられる。

問女性支援法に基づく市の責務として何を行ったのか。

答第七次川越市男女共同参画基本計画を策定し、困難な問題を抱える女性への支援を主要課題に加えた。また支援の担い手となる人材育成講座の企画等の準備を進めた。

問実質収支比率が適正水準にあると考えるか。

答本市の実質収支比率は10.4％で、中核市の平均4.2％と比べ、高い状況となっている。

問財政調整基金への依存度をどのように評価しているか。

答当初予算編成時に20億円以上繰り入れる状況を考慮すると、財政調整基金への依存度は低いとは言えない。

問物価高騰対策支援事業が各家庭に与えた影響は。

答一例として、高校生と中学生のいる子育て世帯には、子育て応援手当、学校給食費負担軽減に加え、高校生世代への支援により、５万９千円の支援を行った。

問学校評価の活用について、評価報告書への記載は、実施の有無のみである。活用状況はどう把握しているのか。

答評価理由および評価を踏まえた改善策について、毎年度末、全校から評価シートを提出してもらうことで、取り組み状況を把握している。

問環境教育の推進について、各校における活動が形骸化しているとあるが、どう形骸化しているのか。

答川越市エコチャレンジスクール認定事業が、定番化した活動や委員会活動のみの取り組みになっているなど、多くの学校で趣旨が曖昧となり、形骸化している。

問高齢化の中、福祉分野で対応すべきことは。

答身寄りのない高齢者や認知症への支援、在宅医療・介護連携の推進、親亡き後等の課題に対応するため、地域福祉計画等に基づき高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制の充実に取り組む。

問農業施策はどこに重点を置いて進めていくのか。

答中心的担い手への農地集積、設備投資支援、ほ場整備など生産性向上への取り組みとともに、農業機械の修繕支援や小規模な農業者が営農を継続できる取り組み、本市農産物の流通促進など地産地消の取り組みを推進する。

議案第72号

法定外税導入検討委員会条例

初雁自由政令会｜川越志政会｜政策フォーラム

問法定外税とはどういったものか。

答地方税法に定められた税目以外に、条例により独自に設けることのできる税目である。地方団体の課税自主権を活用した制度であり、使途を特定しない法定外普通税と特定の費用に充てる法定外目的税に分類される。

問条例制定の背景は。

答将来的な自主財源の確保と観光分野における行政需要に対する受益者負担の観点から、法定外税の導入について、専門的知見をはじめとするさまざまな角度から検討を進めようとするものである。

問このタイミングで本条例を上程した理由は。

答今後、学識経験者や関係事業者などから意見を聞き、導入の可否等の検討を進める必要があるため、上程した。

問 法定外税導入により財政にどのような影響を与えるか。

答 構造的な財政課題が直ちに改善するものではないが、必要な財源を確保する上で、有効な手段の一つになる。

問 検討に当たり税目を観光税に限定しているのか。

答 地域特性を踏まえると、観光に関連する税目が適していると考えているが、具体的な制度内容については今後、検討を進めていく。

問 法定外税において特別徴収を採用した場合の特別徴収義務者の負担は。

答 納税義務者から税を徴収し、市へ納入する事務的な負担に加え、制度の導入に伴うシステム改修等の経済的な負担が生じる可能性がある。このため、関係事業者の意見を十分に聞くとともに、過度な負担が生じることのないよう、事務手続きの簡素化やシステム面での対応など、負担をできる限り軽減するための方策を検討する。

議案第75号

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正

川越志政会

問 犯罪事実確認を実施した結果、対象の業務に従事させようとする者、または現に対象の業務に従事させている者が特定性犯罪事実該当者であることが認められた場合、対象事業者に求められる措置はどのようなものか。

答 児童対象性暴力等の恐れがあるとの判断の下、防止措置を図る。防止措置としては、対象業務に従事させようとする者には内定取り消しなどを行い、現に対象業務に従事している者には対象業務以外への配置転換を行うなど、原則、当該従事者を対象業務に従事させないことが考えられる。

議案第76号

行政財産の使用料に関する条例の一部改正

公明党｜無会派

問 使用料改定による周辺住民の生活環境への影響は。

答 観光目的の一部の車両が、市役所南側・北側駐車場より安価な民間の時間貸駐車場を探すことにより、うろつき渋滞が発生し、それらの車両が生活道路に進入するなど、周辺住民の生活環境に影響が生じる可能性がある。そのため、そのような事象が発生しないよう注視していくとともに、小江戸川越観光デジタルマップにおいて閲覧できる民間の時間貸駐車場を増やせるよう関係者と協議を行い、デジタルマップの活用を促進することで、生活環境への影響が生じないよう取り組んでいきたい。

問 市役所南側・北側駐車場の使用料はどう変更されるか。

答 休日等の昼間における使用料の額を、使用時間が30分を超え１時間以内の場合は400円から600円に、１時間を超える場合は15分ごとに100円から150円に改定する。

問 本年８月に変更となった駐車場料金の徴収方法は。

答 出庫時に精算機器で車両ナンバーを入力して対象車両、支払い方法を選択した後、料金の徴収を行う。

問 市内福祉団体等の利用に配慮することはできるか。

答 カメラ式入出庫管理システムを導入しているため、どのような方法が可能か、関係課と協議しながら検討する。



現在の市役所南側駐車場

議案第78号

都市公園条例の一部改正

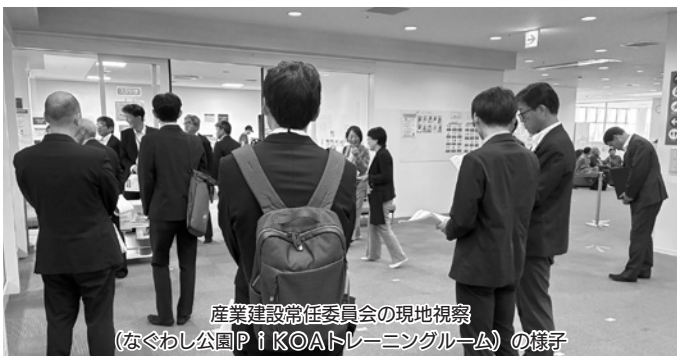
公明党｜日本共産党

問 今回の使用料改定は、利用者の負担増を伴うものであるが、市民にとってどのような効果につなげていくのか。

答 改定により増収が見込まれる使用料収入の一部で、施設の改修・修繕や備品の購入・更新等を行い、施設を利用する人に安心・安全に利用してもらうことで、喜んでもらえる施設として、引き続き維持管理運営を行っていきたいと考えている。

問 テニスコートやＰｉＫＯＡなどの運動施設を使用料改定の対象に選んだ理由は。

答 検証作業により使用料の改定が必要と判断した施設のうち、人により必要性が異なり、民間でも提供されているサービスを提供する施設と利便性の向上に資する改修が行われる施設を選定した。



産業建設常任委員会の現地視察（なぐわし公園ＰｉＫＯＡトレーニングルーム）の様子

問 今後の公共施設の使用料改定の考えは。

答 使用料の見直しが長期間行われていない施設が多いと

いった現状の課題を踏まえ、施設選定の考え方を整理し、方向性が定まった施設について、順次改定を進めていく。

議案第79号
学童保育室条例の一部改正
初雁自由政令会｜公明党｜無会派｜川越志政会｜日本共産党

問 学童保育室の運営経費における市の負担の状況は。

答 国の考え方では運営経費の約17％が市の負担となるが、令和７年度の決算見込み額では市の負担が39.81％で約４億9000万円となり、本来負担すべき割合よりも約23％、金額にして約２億9000万円多くなっている。

問 保育料の今後の見通しは。

答 学童保育室の持続的で安定的な運営を見据え、施設設備の老朽化や登録児童数の増加に伴う人員確保に対応するため、今後も利用者負担や子育て世帯の状況などを考慮しつつ検証を行い、必要な見直しを行っていきたい。

問 開室時間の延長に踏み切った経緯は。

答 職員体制の確保が課題だったが、令和８年度から全ての学童保育室に正規職員を配置したことに加え、幅広い人材募集により、会計年度任用職員を安定的に確保する見通しが立ったことから、延長しようとするものである。

問 保育料の改定について、保護者への周知は。

答 令和９年度の学童保育室の入室の受け付けと併せて、利用案内等による周知を行うとともに、段階的な引き上げの対象となる令和10年度から令和11年度の入室の受け付けに際しても、周知を行っていきたいと考えている。

問 開室を午後７時まで延長した場合、どう対応するのか。

答 複数のシフトで従事する職員の個別事情や意向に配慮し、休暇等を考慮したシフト調整を柔軟に対応していく。

問 国は、保護者負担を２分の１としている。保育料改定による収支の変化をどのように試算しているのか。

答 保育料収入については、令和10年度は約1300万円、令和11年度は約5000万円の増収を見込んでいる。

問 職員・保護者・児童にどう理解を求めていくのか。

答 改正の経緯や内容について、丁寧な周知や説明を行いながら、理解を得ていきたいと考えている。

問 保育料の改定により、職員の待遇はどの程度改善されるのか。

答 会計年度任用職員である学童保育室の放課後児童支援員等については、これまでも人事院勧告を踏まえた給与改定などにより処遇改善を図っており、その財源として、保護者からの保育料である学童保育室運営費負担金等を活用している。今回の改定によって増加が見込まれる負担金の一部を当該放課後児童支援員等の人件費に充当することにより、職員の安定的な雇用や職場環境の整備などにつながると考えている。

問 多子世帯の保育料は、どの程度軽減されるのか。

答 児童１人につき月額１万円、２人で月額２万円を負担する家庭の場合、軽減制度の適用により、２人目の負担が半額となり、毎月５千円の軽減が図られる。

問 今後も、公設公営の学童保育室を堅持していくことが重要だと思うが、市の考えは。

答 国の放課後児童クラブ運営指針を踏まえて、職員の資質向上や施設環境の整備に努め、今後もこどもたちの健全育成に向けた放課後の居場所づくりに責任を持って取り組んでいきたいと考えている。

議案第80号
公民館設置条例及び公民館使用条例の一部改正
初雁自由政令会

問 移転する芳野公民館では、どのような特徴があるのか。

答 バリアフリー対応、広いコミュニティースペース、貸室は講座室４室を整備し、一体的な利用も可能となる。


仮称芳野市民センターのイメージ

問 中央公民館分室の歴史的文化的価値をどう捉えるのか。

答 小泉八雲や本市の豪商にゆかりのある建物として歴史的文化的価値をＰＲしてきた経緯がある。

問 中央公民館分室廃止後の建物の管理活用手法は。

答 建物の保存修理やリノベーション、用途変更による活用、活用を条件とした売却や賃貸借契約による方法、指定管理者制度など民間事業者を活用する方法等がある。

議案第84号
令和８年度一般会計補正予算（第２号）
公明党｜川越志政会｜川越未来の会｜日本共産党

問 各施設の樹木について、現在、どのような被害が出ているのか。

答 枯れ枝や枯れ木、キノコ等による腐朽が進んでいる樹木が主な被害となっている。

問 本年４月から開始した地域防犯カメラ設置費補助金の利用希望は。

答自治会を対象に本年４月から５月に利用意向の調査を実施した結果、令和８年度は17自治会、令和９年度は15自治会、令和10年度は９自治会から利用希望があった。
　調査後も複数の自治会から問い合わせや相談がある。

問国の交付金など特定財源を活用することで、一般財源に余力が生じると考えるが、それを財源として他の市民サービスや新たな行政需要への対応に活用する考えは。
答予算編成に当たっては、予算全体の中で必要な事業に適切に一般財源を配分していくことが重要である。
　特定財源を活用することにより負担が抑えられた一般財源は、財政状況や行政需要等を踏まえながら、市民サービスの充実など必要な施策に有効に活用していく。

問学校給食における給食食材費が高騰しているが、給食費無償化は継続するのか。
答学校給食費の無償化については、交付金を巡る国などの動向を注視しつつ、継続していきたいと考えている。
問物価高騰対策の対象とならない業種の事業者について、どのように考えているか。
答当該事業者についても、物価高騰の影響を受けていると考えられることから、今後の事業者を取り巻く状況や国、県の動向を注視しながら、必要な支援について検討していく。

問中東情勢や物価高騰の影響を受ける市民や事業者への支援は不十分ではないか。
答国の交付金を最大限活用するとともに、不足する財源には一般財源を充当し、必要な支援を必要とする人に、より効果的に届けられるよう、事業の必要性や効果等を十分に検討し、対象となる物価高騰対策事業を選定した。
問農業機械修繕支援事業の追加分の事業スケジュールは。
答市ホームページや広報川越、いるま野農業協同組合の組合員全戸回覧、農業者向けの会議等での説明により事業周知を行い、11月中には申請受け付けを開始したい。

議案第85号
令和８年度介護保険事業特別会計補正予算（第１号）
日本共産党

問介護保険保険給付費等準備基金の令和８年度末残高は。
答令和８年度末残高は、23億5329万3785円と見込む。
問第10期介護保険事業計画に向けて、介護保険保険給付費等準備基金を活用し、介護保険料を引き下げることについて、市の考えは。
答要介護・要支援認定者数の増加、介護報酬の増額改定等により、保険料の引き下げは困難な状況であるが、少しでも上昇を抑制できるよう、準備基金を積極的に活用したいと考える。現在、保険料の推計を進めており、川越市介護保険事業計画等審議会の審議を経て示したい。

討論

今定例会の最終日に次のような討論が行われました。

議案第61号
令和７年度一般会計歳入歳出決算認定
反対｜日本共産党
　賃金の上げ幅は物価高に追い付かず、中小企業が多い法人経営も厳しい。生活保護は国の不適切な引き下げが断罪され、行政の困窮者差別が問われている。単独事業の見直しは福祉を後退させる。貧困の連鎖を止める学習支援は、福祉的ケアを充実させるべき。コメ価格の急落に支援が必要。川越シャトルとかわまるの増便が必要。黒字の財源で市民への施策を早急に進めよ。高市政権が軍事と大企業支援に偏った政策を進めているが、憲法が定める人権意識と平和な社会に基づく行政運営を求める。
賛成｜無会派
　所得が増えた市民がいる一方で、生活が苦しい市民も多くいる。物価高や自然災害の増加で業務が増え、市職員の負担も増加している。大雨に強いまちづくりを進め、地域コミュニティー活動の拠点である市民センターの整備等、さまざまな事業が行われた。第七次川越市男女共同参画基本計画が策定され、女性支援新法により困難な問題を抱える女性への支援も始まる。市役所全体でさらに市民に寄り添う施策の実施を期待し、賛成討論とする。

決議第３号
小林透議員の説明を求める決議
賛成｜川越志政会
　今回、市民の葬儀に供花を送った行為は、公職選挙法第199条の２に規定される政治家の寄付の禁止に該当するものと考える。市民の負託を受けて職務を全うする議員として、法令を順守し、高い倫理観を持って行動することは当然の責務だ。また、川越市議会議員政治倫理条例では、議員は法令、条例その他の社会の規範を順守しなければならないと定められ、さらに公職選挙法の順守も明記されている。今回の行為に至った経緯についても、市民および議会に対して誠実に説明し、その責任を明らかにすることを求め、賛成討論とする。

一般質問

30名の議員が市政に関する一般質問を行いました。
２次元コードから各議員の中継映像がご覧いただけます。



初雁自由政令会 江田 崇

利用者目線で改修促進を　1

問不透明な新球場建設を理由に初雁球場の改修をためらう姿勢を見直してほしい。今後の維持管理の見解を市長に伺う。

答市長　初雁公園野球場は、長年にわたり多くの市民に親しまれてきた施設であり、大切なスポーツ施設の一つであると認識している。初雁公園については、城址公園として整備する方向性が示されているが、具体的な計画には着手していない。本市における野球という文化を将来につなげていく事も必要と考えているため、野球関連団体と関係が深い文化スポーツ部との連携も踏まえ、楽しく安全に利用できるよう維持管理していきたい。

質問 初雁球場



初雁自由政令会 小林範子

外国籍市民へのマナー講座　2

問外国籍市民にごみの分け方・出し方、交通ルールなど、日本で暮らすマナーや生活習慣を習得する講座を拡充し、地域とのコミュニケーションの機会を増やす施策を伺う。

答文化スポーツ部長　ルールやマナーの習得は、住民間トラブル防止に不可欠であると認識しているため、オンライン講座の開催も含めて研究していく。

　併せて、地域でコミュニケーションを取ってもらえるよう、外国籍市民向け生活ガイドブックや、難しい言葉を易しい言葉に言い換えるなど相手に配慮したやさしい日本語を周知していく。

質問 川越市駅周辺まちづくり　質問 外国籍市民の日本語教室



初雁自由政令会 小高浩行

入間川湾曲部の樹木伐採　3

問入間川などの河道の掘削や樹木の伐採等については国や県に要望してもらいたいが、市費において入間川湾曲部の竹やぶなどの樹木伐採だけでも早急にできないか。

答建設部長　入間川などの維持管理は、河川管理者である国や県が河川整備計画に基づき、出水による河岸洗堀、流下の阻害となる土砂堆積、樹林化の進行等に対し、適切に維持管理するものである。市としては、流下の阻害になるような土砂の堆積や樹木伐採について、国や県と市が河川管理者間の連携を深めるための情報として提供するとともに、適切に維持管理が図られるよう働き掛けていく。

質問 入間川流域の水害対策　質問 児童生徒のネットＳＮＳ



初雁自由政令会 牛窪喜史

頻発する自然災害に対して　4

問市民が安全安心に暮らせるように、頻発する自然災害に対して市が取り組むべき対策について伺う。

答危機管理監　市が平時から避難場所や避難所の確保、環境整備、備蓄品の拡充などの対策を進める他、職員の災害対応力の向上を図ることは重要である。このため、避難所のトイレ対策や、避難者の特性に応じた備蓄、災害協定の締結、実効性のある訓練の実施に取り組んでいきたい。また、自助、共助を促進する取り組みとして、自治会や自主防災組織への支援の継続、市民参加型の訓練や防災イベント、防災講話の拡充など、市民の防災意識の向上につながる対策についても進めていきたい。

質問 クビアカツヤカミキリ　質問 自然災害の取組



初雁自由政令会 小島洋一

福原地区道路の安全性向上　5

問市内の舗装修繕の要望・陳情について、優先順位付けをどのように行っているのか伺う。

答建設部長　市道については、市内道路網の骨格を担う幹線道路と地区内の生活を支える生活道路があり、路線の位置付けに応じた優先順位の考え方もあるが、一般的には、舗装の状態、交通量、通学路、修繕履歴、修繕範囲などを調査・検討しながら、緊急性および実施時期の見込みを含めて優先順位付けを行っている。



質問 広聴課の取り組み　質問 福原地区の舗装修繕



川越志政会 松本きみ

子育て支援の現状と今後　6

問乳児のいる家庭の多様なニーズに対応するため、市と民間との連携について、どのように取り組んでいくのか。

答こども未来部長　本市では、子育て支援に取り組む民間の団体等と日頃から情報共有を図るとともに、母子保健連絡調整会議などを通じて、顔の見える関係を築き、連携を進めている。今後も、子育て支援に取り組む民間の団体等と情報共有を図り、それぞれの支援内容や役割について、互いに理解を深めていくことが大切であると考えている。その上で、互いの専門性や強みを尊重し合い、市と民間がそれぞれの立場から子育て家庭を支えていけるよう、連携強化を図っていきたいと考えている。

質問 子育て支援の現状と今後



川越市民の会　**柳沢貴雄**（やなぎさわ たかお）

災害時のペットの同伴避難　7

問熊本地震ではペットを理由に車中泊を選び、体調を崩す避難者が相次いだ。ペットと「同室」で避難できる「同伴避難」について、市はどのように考えているのか。

答危機管理監　犬や猫等の動物と一緒に暮らしている人にとっては、ペットも大切な家族の一員と認識している。避難所は動物が苦手な人などさまざまな人が避難する場所であり、避難所ごとにペット専用スペースをあらかじめ定め、ペットを連れた避難者と他の避難者が共に安心して過ごせるよう環境整備に努めている。避難者がペットと同室で避難することができる同伴避難についても、他団体の先進事例を参考にしながら、調査研究していく。

関大規模災害への備え



公明党　**中村文明**（なかむら ふみあき）

小中学校における暑熱対策　9

問先進事例も参考にしながら、モデル校においてマイボトル用給水機導入などの水分補給対策を試行し、その効果を検証していくことについて、教育長の考えを伺う。

答教育長　児童生徒の安全と健康の確保は、学校教育の基盤であり、重要課題であると認識している。提案の給水機導入については、熱中症対策のみならず、マイボトル活用を通じた環境教育や健康意識の向上など、多角的な視点からも意義深いものと受け止めている。

　他自治体の先進事例や導入の効果・課題などを把握し、モデル校での検証を含め、実効性のある給水環境の充実に向け検討を進めたいと考える。

関小中学校の諸課題



公明党　**嶋田弘二**（しまだ こうじ）

若者の就労・生活支援　11

問就労の課題を抱える若者に対して今後、どのように対応していくのか伺う。

答産業観光部長　本人や家族からの相談が寄せられた際には、適切な支援に結び付けられるよう日頃から関係する部署との連携に努めていく。また、本人への就労に関する支援は、相談先や支援先の存在を本人や家族に知ってもらうことが重要と考え、ＳＮＳなどを活用した情報発信の充実に努めていく。発信する情報についても、支援の当事者である若者の傾向などを意識し興味を持って就労の一歩を踏み出すきっかけとなるような情報の収集にも努めていく。

関若者の就労・生活支援



公明党　**鈴木謙一郎**（すずき けんいちろう）

高齢者の安心な暮らし　8

問高齢者の消費者被害を未然に防ぐため、今後どのような取り組みを進めていくのか伺う。

答市民部長　消費者被害の発生後では被害回復が困難な場合が多いため、市民への注意喚起や啓発活動が重要である。現在、消費生活講座の開催や市ホームページへの掲載などを通じて啓発活動を行っており、今後は最新の被害事例や手口を収集・分析し、分かりやすい周知に取り組んでいく。また、地域包括支援センターや民生委員、ケアマネジャーといった福祉関係者との連携を一層深め、地域全体で高齢者の異変やトラブルの兆候を早期に察知できる体制を強化し、被害の未然防止に取り組んでいく。

関消費者トラブル　関エアコン購入費の助成



公明党　**須藤直樹**（すどう なおき）

地下道の維持管理・改善を　10

問新河岸駅地下道について、今後、どのように維持管理に取り組んでいくのか伺う。

答建設部長　新河岸駅地下道については、清掃業務等の日常管理を継続し、利用者が安全・安心に利用できる施設として維持管理をしていく。

　また、施設の経年劣化に対する課題に対しても、計画的に設備等の修繕や更新が進められるように取り組んでいく。



関高階地区の安心・安全



無会派　**伊藤正子**（いとう まさこ）

市民に寄り添う生活支援を　12

問国の調査で８割が生活が苦しいと回答。特に生活が厳しいとされる母子世帯に対する支援の考え方を伺う。

答こども未来部長　国の調査結果によると、母子家庭の平均年収は236万円で父子家庭496万円の半分以下である。その要因の一つである非正規雇用の問題に対応するため、資金計画、生活全般の相談に対応する母子・父子自立支援員や就業に当たっての支援・助言を行う就業支援専門員を配置し、正規雇用に向けた支援を行っている。

　今後も、多様な課題を抱えるひとり親世帯の生活状況やニーズの把握に努め、当該世帯が安心して暮らせる生活基盤を築けるよう支援していく。

関データセンターと住環境　関市民生活を支える政策



川越市民の会　小林（こばやし）　薫（かおる）

令和９年川越市議会選挙　13

問 令和９年川越市議会議員選挙において、自治会等の補助金交付団体が特定の候補者を応援することに対して、市長の考えは。

答 市長　補助金交付団体は独自の目的で自主的に活動しており、個々の団体の判断に委ねられるものと考える。





闘 夏季ラジオ体操　　闘 令和９年統一地方選挙



川越市民の会　小林（こばやし）　透（とおる）

サッカー少年団の活動環境　14

問 こどもたちがスポーツ活動をする場所の現状の実態を検証し、具体的な改善策を講じていく考えがあるのか伺いたい。

答 文化スポーツ部長　スポーツ活動の場は、屋内外それぞれあり、市立小中学校の施設活用や公共施設の利用のみでは十分に対応できていないものと考えている。また、活動場所の改善策については、複数のサッカー少年団からの活動場所に関する要望を踏まえ、施設の有効な利用方法、必要な改善策を検討するため、まずは、各施設等の利用実態の把握に努めていきたい。

闘 スポーツ少年団の諸問題



公明党　田畑（たばた）たき子（こ）

女性の視点を生かす防災力　15

問 女性の視点を避難所運営などに反映させるため、地域で活動する女性防災士と連携することについて伺う。

答 危機管理監　女性防災士が女性ならではの視点で避難所の環境改善やきめ細かな防災啓発を行うことで、今後、活躍の場が増えると認識している。災害現場では、安全面や心身の健康、救援物資などで男女のニーズの違いが配慮されない課題があり、防災・減災を推進し、災害に強いまちを実現するには、それぞれの視点が必要である。このため、女性防災士を含めた防災士との連携については、自助、共助を促進させるためにも、防災講話や防災訓練の機会を捉え、活躍の場の提供を検討していきたい。

闘 女性が働きやすい職場　　闘 女性視点の防災力の向上



公明党　桐野（きりの）　忠（ただし）

民地の危険木の対策　16

問 民地の危険木による倒木等を未然に防止し、市民の生命と安全を守るため、具体的な対策を講じていく考えはあるか伺いたい。

答 市長　民地からの危険木への対応について、現在は道路法の枠組みの中で対応を行っているところだが、さまざまな状況に応じた本市独自の仕組みづくりについて、今後、関係部署と連携しながら対応方針を検討していく。



闘 市内樹木等の管理　　闘 災害用給水井戸と受水槽



初雁自由政令会　海沼（かいぬま）秀幸（ひでゆき）

久保川大田街道排水対策を　17

問 地域住民の大雨への不安を早期に解決するため、大田街道の排水対策を重点的かつ早期に進めるべきと考えるが、市の決意を伺う。

答 市長　久保川の整備は、これまでの取り組みにより流下能力が向上し、一定程度の整備効果が発現されていると認識しているが、上流部の大田街道から久保川への排水対策についても、今年度末を工期とする道路工事を執行し、重点的に進めている。

今後も、久保川全体の状況をしっかりと捉え、流域の市民の安全・安心を守るため、治水安全度の向上を図る整備を推進していく。

闘 安心安全なまちづくり



川越志政会　中野（なかの）敏浩（としひろ）

街路樹による日陰の創出　18

問 地球温暖化への対応や熱中症対策の視点から道路舗道整備において、街路樹による日陰の創出は重要であり、市として取り組むべき課題と考えるが、市の認識を伺う。

答 西川副市長　道路の街路樹は、直射日光を遮断するだけでなく、地面からの照り返しや路面温度の上昇を緩和する機能を有しており、地球温暖化への対応や熱中症対策の視点から街路樹の必要性が考えられる。一方で、道路交通の支障とならない視界を確保するため、樹木の成長に合わせた剪定（せんてい）など適切な維持管理が難しいという側面もある。これらのバランスを十分に精査した上で、道路整備において、街路樹の植樹を検討していきたい。

闘 熱中症対策の現状と今後



川越志政会　桑（くめ）　真美子（まみこ）
公共サービスに民間の力を　19

問 **行政と民間との連携は不可欠だが、本市は前例踏襲で業務委託の域を出ていない。計画重視で出遅れや後追いが多く機会損失が生じているが、公民連携の在り方は。**

答 **栗原副市長**　今後、厳しい財政状況や人口減少に伴う担い手不足、公共施設の老朽化に対応しながら、質の高い行政サービスを安定的に提供し続けるには、公民連携の取り組みは必要と認識している。一方、責任所在の明確化や透明性の担保など留意する事項もあるため、行政が担うべき役割を整理した上で、さらなる民間事業者等との連携の取り組みを推進していきたい。

闘 公民連携のさらなる推進　闘 適正な選挙執行



川越志政会　倉嶋（くらしま）　真史（まさし）
単独で困難な課題は協力で　20

問 **公共交通を隣接自治体間で協力し、市域を越えて運行することにより、効率的な運用や利便性の向上が図られると考えるが、市の考えを伺う。**

答 **都市計画部長**　隣接自治体間での相互運行は、運賃設定や運行経費の負担割合等の課題があり、直ちに実施することは難しいものと考える。一方で、将来的に運転手等の担い手不足が一層深刻化し、郊外における高齢者等の移動手段の確保が困難となることが見込まれる場合などには、広域行政の考え方としての隣接自治体との相互運行についても選択肢の一つとして研究したいと考える。

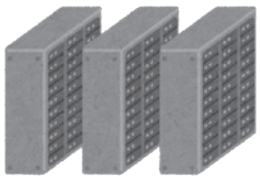
闘 自治体間連携



川越未来の会　加藤（かとう）　みなこ
中福地区の土地利用転換　21

問 **中福地区に立地予定のデータセンターについて、運営事業者等を把握しているか伺う。**

答 **産業観光部長**　現在、都市計画提案者であるデータセンター開発事業者と、土地利用転換や開発に向けた協議を重ねているが、運営事業者等については、データセンター開発事業者に確認したところ、現在は中福地区の土地利用転換に係る各種手続きと並行して、選定作業を進めている状況であり、現時点では公表できる段階にないとのことである。



闘 土地利用転換



川越未来の会　神田（かんだ）　賢志（さとし）
圏央鶴ヶ島ＩＣ周辺の発展　22

問 **都市計画道路、日高川越鶴ヶ島線の整備に関する考えを伺う。**

答 **都市計画部長**　当該道路の整備により、各市から圏央道や東武東上線鶴ヶ島駅へのアクセスが容易になるものと考える。

　現在、日高市および鶴ヶ島市の区間において、整備に向けた動きが見られることから、２市の整備状況などを注視しつつ、当該道路の整備効果や他の都市計画道路の整備状況などを鑑みながら、庁内の関係各課で協議していきたい。

闘 土地利用転換



無会派　川口（かわぐち）　啓介（けいすけ）
合理性を欠く校則の見直し　23

問 **適切な説明ができない、合理性を欠く校則が多数残るだけでなく、各市立中学校間で大きく異なる校則について、教育委員会はどのように関わっていくのか。**

答 **学校教育部長**　教育委員会として、各学校の校則の内容や見直しの状況を把握することは重要であると考える。今後、各学校に調査等を行い、校則の内容や見直しの状況等を確認するとともに、文部科学省が示している校則に係る指針の内容等を踏まえ、見直しに当たり大切にすべき視点やプロセスを各学校と共有していく。また、各学校において校則の見直しを行う際は、必要に応じて助言や支援を行っていく。

闘 校則の見直し



日本共産党　川口（かわぐち）　知子（ともこ）
青少年団体の利用料軽減を　24

問 **学校の体育館は、社会教育・体育の場、災害時の避難所として、本来無料で利用できるようにすべきと思うが、空調利用の負担軽減に対する市長の考えを伺う。**

答 **市長**　市立小中学校における学校体育施設の開放は、スポーツやレクリエーション活動の場として重要な役割を果たしており、スポーツ団体によっては、青少年の健全育成など、教育的な観点からも有意義な活動を行っている団体があることを認識している。

　スポーツに親しむ機会を充実させ、スポーツによるこどもたちの健やかな体や豊かな心身の育成をする観点から、負担軽減策について検討したい。

闘 豪雨災害から命を守る　闘 体育館の空調使用料軽減



日本共産党　池浜(いけはま)あけみ

障がい者の生きやすい社会　25

問 **障がいのある人やひきこもる人などが、自分らしく安心して暮らせるよう市はどのようなことに取り組むのか。**

答 **福祉部長**　障害のある人やひきこもる人などが望んでいる暮らしや社会との関わり方を把握し、本人の意思や希望を尊重した上で、障害福祉サービスや相談支援等につなげることが重要である。川越市障害者支援計画において、障害のある人への施策やひきこもりに関わる事業の充実に努めるとともに、分かりやすく周知を行うことで、地域の中で必要な支援や人とのつながりを持ち、自分らしく安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

関 物価高騰対応給付金　　関 生きやすい社会



日本共産党　今野(こんの)英子(えいこ)

市民が利用しやすい施設へ　26

問 **今後も市民の要望を捉え、市民が利用しやすい公共施設となるよう予算措置も含めて計画的に拡充することが必要と考えるが、市長の見解を伺う。**

答 **市長**　文化施設や公民館については、文化芸術や生涯学習、地域コミュニティーの拠点として、誰もが安心かつ快適に利用できる環境づくりが大切であると考える。そのためにも、施設の機能を引き続き発揮できるよう、適切な維持管理を行っていく。また、さまざまな魅力ある事業を展開していくことで、市民にとって、より利用しやすい施設となるよう努めていく。

関 公共施設の拡充を　　関 教職員の多忙化解消を



日本共産党　柿田(かきた)有一(ゆういち)

貧困の連鎖を止める支援を　27

問 **無料塾と家庭訪問を組み合わせて始まった学習支援は、本市では民間企業に委託され家庭訪問はない。困難を抱えるこどもに福祉的ケアが必要と思うが、市長の考えは。**

答 **市長**　本市の学習支援事業の対象者に対しては、学習面の支援や居場所の提供の他、日常生活習慣の形成など福祉的な視点からのサポートも一体的に実施している。

　こどもの心に寄り添った支援や関係機関と連携した支援など、福祉的な視点を持った支援が大切であると考えることから、今後も、こどもの学力向上や学習環境の整備と併せて、心のケアにつながるような支援を行っていきたい。

関 学習支援の改善　　関 シャトル・デマンド増便



無会派　村山(むらやま)博紀(ひろのり)

新聞活用で学校図書館整備　28

問 **デジタル教科書導入など教育現場での急激なデジタル化は心配だ。学校図書館整備として、活字に親しむ教育環境の拡充のため、新聞を複数紙配備することの考えは。**

答 **学校教育部長**　現在、全校への新聞の複数紙配備には至っておらず、新聞を活用した授業の機会はあるが、新聞以外の活用により、情報活用能力の育成を図り、探究的な学習に取り組んでいる。情報活用能力のさらなる育成、質の高い探究的な学習の実現は重要なため、今後は児童生徒が自主的に情報に触れる機会を確保するとともに、新聞を含めた複数のメディアや一人一台端末などの教具を効果的に活用し、情報リテラシーの育成に努める。

関 デジタル教科書導入



政策フォーラム　髙橋(たかはし)剛(つよし)

排水施設の耐水化を　29

問 **水害から市民の命と市民生活を守る排水施設が、浸水による機能停止とならないよう耐水化を進めるべきと考えるが、市の見解を伺う。**

答 **建設部長**※　排水施設の耐水化は、浸水による機能停止を防止するための対策を講じることが重要である。

　建設部では、これまでの浸水実績や浸水想定区域を踏まえ、効率的・効果的な整備を検討していく。また、上下水道局では、下水道施設の耐水化計画を策定し、浸水被害が想定される４カ所の排水施設のうち、霞ケ関第一雨水ポンプ場、上新河岸雨水ポンプ場の耐水化を実施した。今後は、残りの２カ所も順次耐水化を進めていく。

関 激甚化する水害への備え　　関 生活保護行政

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。



初雁自由政令会　吉野(よしの)郁恵(いくえ)

これからの空き家対策は　30

問 **今後、人口減少が見込まれる中、まちの活力を維持・向上させていくために、空き家対策を土地利用やまちづくりに関連する部署で所管することへの考えは。**

答 **総合政策部長**　空き家対策については、それぞれの事案に応じて関係部署が情報を共有し、連携しながら対応している。一方、今後、人口減少が進む中においては、限りある土地・建物を有効に活用し、土地利用やまちづくり、都市機能の維持向上につなげていく視点も重要になると考えられることから、総合的な空き家対策を推進するための体制について、他市の取り組みを参考にしながら検討を行う。

関 空家対策

常任委員会

今定例会において開催した常任委員会の審査の状況について紹介します。

本市議会には、詳細に議案を審査するために、４つの常任委員会が設置されています。

今定例会では、市長から提出された29件の議案について、本会議で質疑を行った後、それぞれ所管する常任委員会に付託され、審査しました。

各常任委員会では、付託された議案について担当課から説明を受け、質疑、討論、採決の順で審査を行いました。

審査の結果については、本会議最終日に、各常任委員長が報告し、報告後に議会として各議案の採決を行いました。議決結果は、４ページの議案議決結果一覧表をご覧ください。

なお、委員会の会議録は、議会ホームページ、図書館等で11月下旬ごろから閲覧できます。

総 務 財 政 常 任 委 員 会

総務財政常任委員会では、事件案５件、予算案１件、計６件の議案を審査しました。議案第61号令和７年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、財政や防災、ふるさと納税や、選挙啓発などについて各委員からさまざまな質疑があり、審査の結果、賛成多数で認定しました。

その他、法定外税導入検討委員会条例やオーバーツーリズム関連事業補助金の歳入を含む令和８年度一般会計補正予算（第２号）の所管部分など５件の議案について、審査の結果、原案のとおり可決しました。



今委員会での審査の様子

委員の構成　委員長　海沼　秀幸　　副委員長　倉嶋　真史
委　員　柳沢　貴雄　　須藤　直樹　　川口　啓介　　柿田　有一　　山木　綾子
桐野　忠　　中原　秀文

保 健 福 祉 常 任 委 員 会

保健福祉常任委員会では、事件案９件、予算案２件の議案を２日間で審査しました。議案第84号令和８年度川越市一般会計補正予算（第２号）の所管部分の審査において、福祉施設等に対するＬＰガス高騰対策支援、医療機関等運営継続支援、市内施設における樹木の適切な維持管理についてさまざまな質疑がありました。

その他の議案10件については、審査の結果、認定または原案のとおり可決しました。



今委員会での審査の様子

委員の構成　委員長　牛窪　喜史　　副委員長　小島　洋一
委　員　加藤みなこ　　小林　透　　伊藤　正子　　池浜　あけみ　　吉敷　賢一郎
田畑たき子　　小高　浩行

委員会の名称、委員定数および所管

委員会名	定数	所管内容
総務財政常任委員会	9人	総合政策部、総務部、財政部、市民部、秘書室、広報室、防災危機管理室および会計室ならびに選挙管理委員会、監査委員、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所掌に関する事項
文化教育常任委員会	9人	文化スポーツ部および教育委員会の所掌に関する事項
保健福祉常任委員会	9人	福祉部、こども未来部、保健医療部および環境部の所掌に関する事項
産業建設常任委員会	9人	産業観光部、都市計画部および建設部ならびに上下水道局および農業委員会の所掌に関する事項

文 化 教 育 常 任 委 員 会

文化教育常任委員会では、事件案４件、予算案１件、計５件の議案を審査しました。

議案第61号令和７年度川越市一般会計歳入歳出決算認定についての所管部分の審査においては、宮元町健康ふれあい広場整備、オールマイティーチャー配置事業、不登校児童生徒支援プラン等について種々質疑があり、審査の結果、認定しました。また、議案第84号令和８年度川越市一般会計補正予算（第２号）の所管部分など４件の議案についても、審査の結果、原案のとおり可決しました。



令和８年３月定例会の委員会にて行った
中央公民館分室での現地視察の様子

委員の構成　委員長　中野　敏浩　　副委員長　鈴木　謙一郎
委　員　江田　崇　　松本　きみ　　村山　博紀　　中村　文明　　小林　薫
川口　知子　　片野　広隆(※)

※議長のため、委員会の活動を辞退しています。

産 業 建 設 常 任 委 員 会

産業建設常任委員会では、事件案11件、予算案２件の計13件の議案を２日間かけて審査しました。

令和７年度決算認定の所管部分については、市内循環バス「川越シャトル」・デマンド型交通「かわまる」の運行事業、なぐわし公園整備、文化創造インキュベーション施設の運営管理、南古谷駅および新河岸駅周辺地区整備事業等において、事業の成果や予算の使い方について活発な質疑が行われました。使用料見直しに係る川越市都市公園条例の一部改正や他の議案についても、審査の結果、認定または原案のとおり可決しました。



令和８年６月定例会の委員会にて行った
なぐわし公園ＰｉＫＯＡでの現地視察の様子

委員の構成　委員長　粂　真美子　　副委員長　嶋田　弘二
委　員　神田　賢志　　小林　範子　　今野　英子　　栗原　瑞治　　髙橋　剛
小ノ澤　哲也　　吉野　郁惠

議会情報

川越市議会に関する情報をお知らせします。

みんなで守ろう「三ない運動」

議員は有権者に寄付を贈らない！

有権者は議員に寄付を求めない！

有権者は議員からの寄付を受け取らない！

公職選挙法により、議員の寄付行為は禁止されています。市民の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いします。
例えば、次のような寄付が禁止されています。

- ●地域の行事やスポーツ大会への飲食物の差し入れ、お祭りへの寄付や差し入れ
- ●自治会の集会や旅行等の催し物への寸志や飲食物の差し入れ、落成式・開店祝いの花輪
- ●秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い・香典、入学祝い・卒業祝い、病気見舞い、葬式の花輪・供花



議員提出議案

■川越市議会会議規則の一部改正　　―原案可決―

議長は、必要があると認めるときは、電子採決システムにより表決を採ることができる規定を追加するとともに、その他所要の規定の整備をしようとするものです。

決議

9月29日に小林透議員に対する決議案が提出され、原案可決となりました。決議の内容は以下のとおりです。

小林透議員の説明を求める決議

公職選挙法第199条の２は、公職の候補者等がその選挙区内にある者に対して寄附をすることを禁止している。また、川越市選挙管理委員会においても、政治家が選挙区内にある者に対して行う寄附は、いかなる名義をもってするものであっても禁止されており、「葬式の花輪・供花」がその具体例として明示されている。

今般、小林透議員が代表取締役を務める会社から、市内で執り行われた葬儀に供花がなされ、その供花には「小林透」と同議員個人の氏名が明記されていたことが、議会運営委員会の場で確認されている。

今回の小林透議員の行為は、公職選挙法及び川越市議会議員政治倫理条例に抵触する疑義を生じさせるものである。これは市議会に対する市民の信頼に関わる問題であり、看過することはできない。

よって、小林透議員に対し、本件供花について、本人の関与並びに供花を行うに至った経緯を市民及び議会に対して十分な説明責任を果たすことを強く求める。

以上、決議する。

令和８年９月29日

川　越　市　議　会

議場コンサート

８月31日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、東邦音楽大学金管五重奏団の皆さんにより、『スタジオジブリメドレー』『青春の輝き』『情熱大陸』の３曲を演奏していただき、議場を盛り上げていただきました。



議場で演奏を行った東邦音楽大学金管五重奏団

編集後記

近年、全国各地で豪雨による浸水や冠水被害が発生しています。いつ、どこで起こるか分からない災害から市民の命と暮らしを守るため、日頃からの備えと地域の実情に応じた防災・減災対策が重要です。今議会は、令和７年度決算を審議する決算議会です。皆さまからお預かりした大切な税金がどう使われ、市民生活に生かされたのかしっかり確認しました。安心して暮らせるまちづくりに向け、引き続き取り組んでまいります。（田畑　たき子）

発行｜川越市議会　　編集｜川越市議会広報紙編集委員会　　電話｜049-224-6067

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁じます。
かわごえ議会だよりは、ユニバーサルフォントを使用しています。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。
リサイクル適性Ⓐ　Fontworks UD Font　VEGETABLE OIL INK